



わるいくま

突然、部屋にくまが訪ねてきた。



「はじめまして。わたくし、
”わるいくま”と申します。」



「わるいこと、なんでも引き受けます。

どろぼう、いじめ、わるくち……」



「人をだましたり・・・とかの
ご要望も よくあります。」



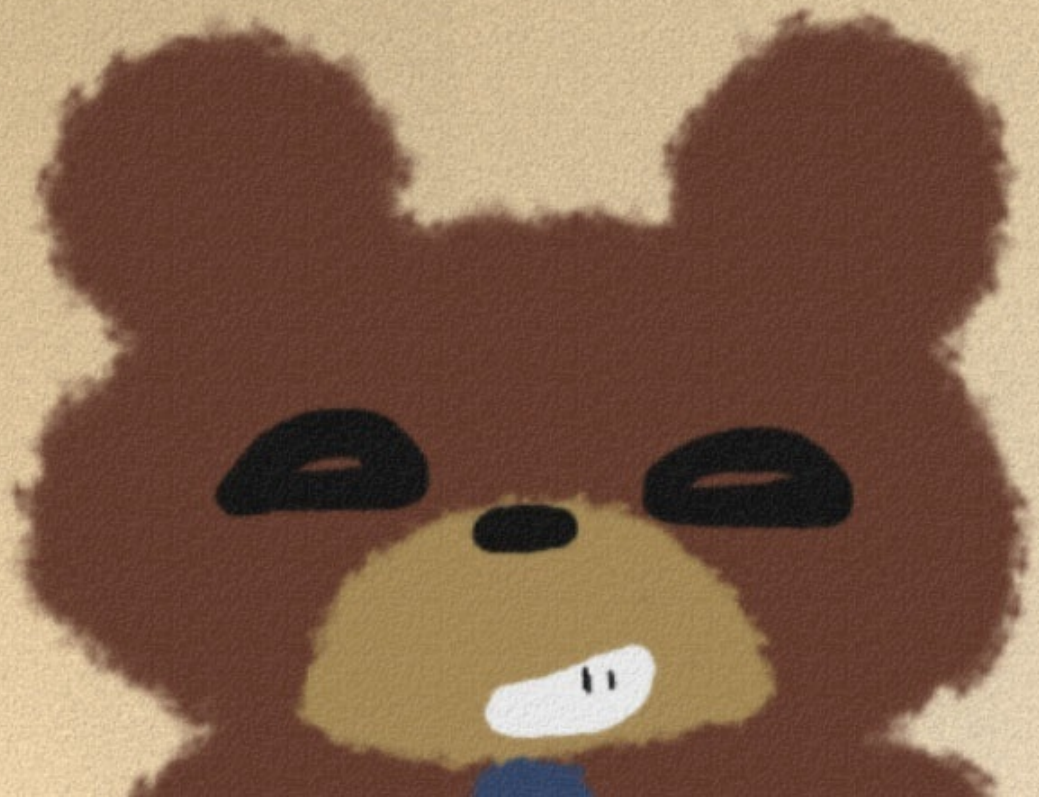
「せっかくだけど、間に合ってるよ。

そんな用事はないよ。」



「おや、そうですか。

でも人間は本来 “わるい” ですから……」



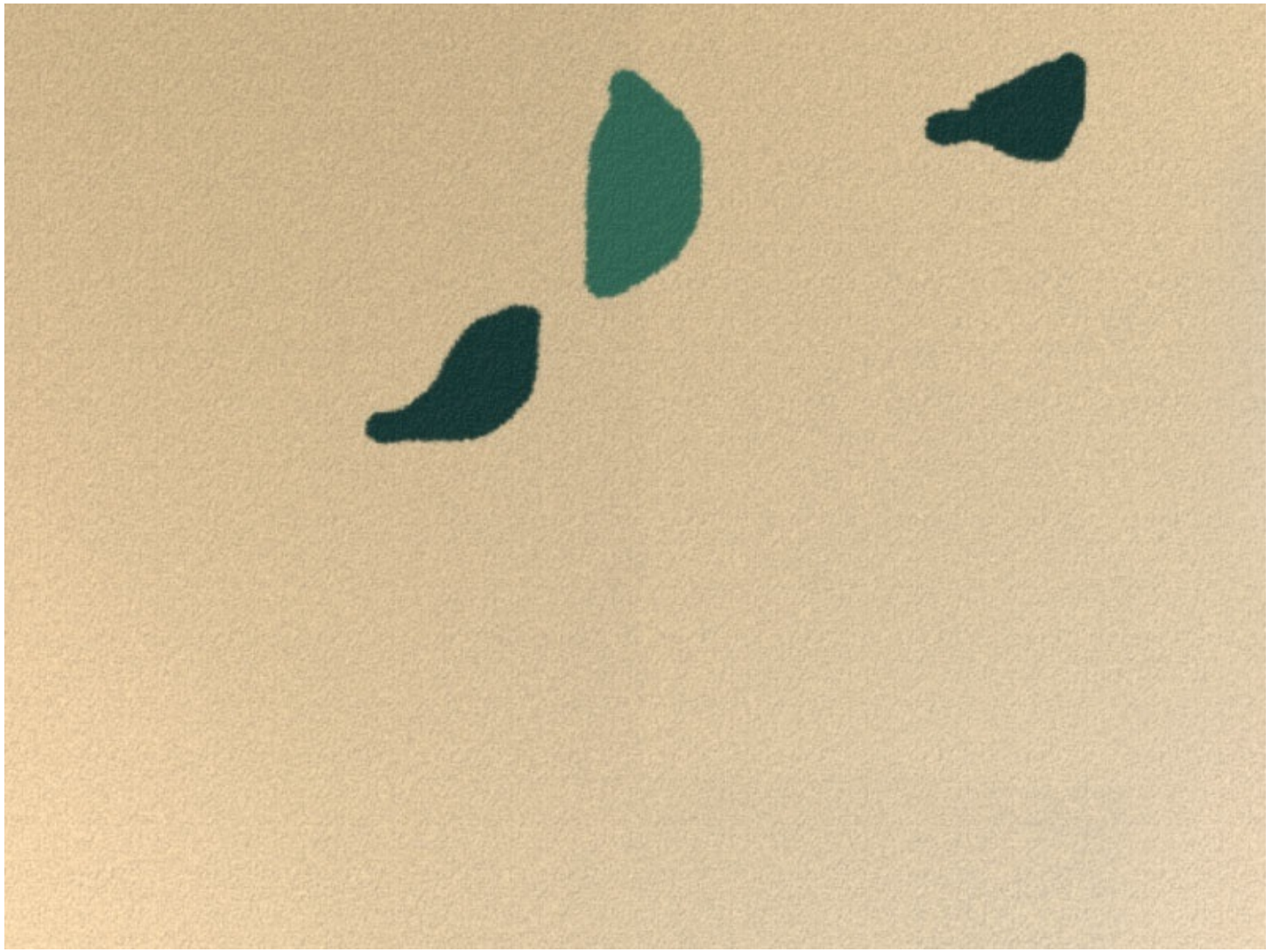
「気が変わったらいつでもお電話ください。」



そう言うと、
くまは名刺を置いて
出ていった。







月日がたち、またこの名刺を見ている.....





「人をだましたり・・・とかのご要望もよくあります。」

騙され裏切られた自分に
くまの言葉が繰り返されていた。



「もしもし.....

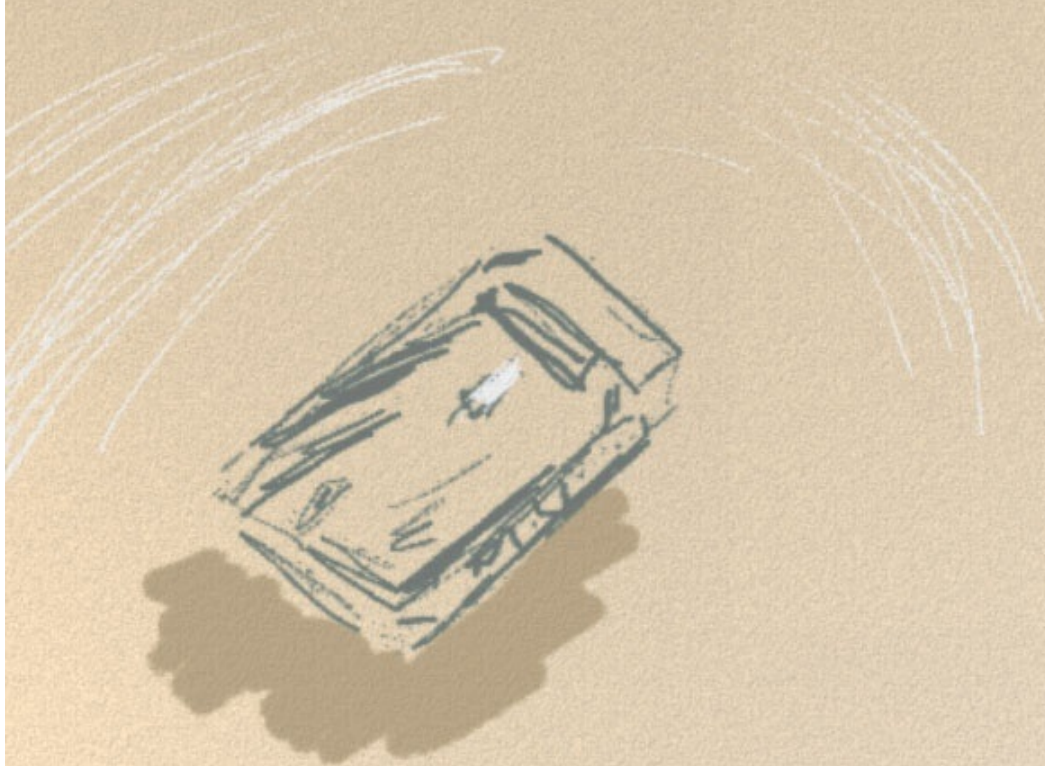
昔、名刺をもらったんだけど....」



「僕をだましてもらえるかな。

あんな事なんかなかったと思えるように。」

「了解しました。」



わるいくま

<http://p.booklog.jp/book/37874>

著者：み〜こ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/miko2/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/37874>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/37874>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.